

## 図書館だより

☎485-2300

### ■開館時間■

火～木曜日：午前10時～午後6時  
金曜日：午前10時～午後9時  
土・日曜日：午前10時～午後4時  
休館日：月曜日・祝日

### ◎図書館バスを

利用してください

町内を図書館バスが巡回しています。時間が合いましたら、個人住宅への巡回も行っています。希望する方は図書館まで連絡してください。

### ◎絵本原画展

■期間／6月20日(木)～7月7日(日)

札幌市在住の絵本作家・大井戸百合子さんの新作『大井戸ざくらの原画を展示します。ぜひ鑑賞してください。』



# 釧路湿原国立公園連絡協議会からのお知らせ

## 新緑の湿原 バードウォッチング

夏鳥が飛来し、野鳥の種類が多くなる季節です。さえずりに耳を傾けてみませんか？ニューナイスズメやセンダイムシクイなど、20種類前後の野鳥の解説を聞きながら、野鳥観察を楽しみましょう。

■日時／6月8日(土)、午前10時～正午

■定員／15人

■参加費／無料

■集合場所／憩の家かや沼駐車場

■申し込み・問い合わせ／塘路湖エコ

ミュージアムセンター(☎4871-3003)

## 春の湿原花ハイク

釧路湿原が白い花々で満たされる季節。ミツガシワやイソツツジの群落、道東でのみ確認されているハナタネツケバナ、ミズバショウと間違えられるヒメカイウなどが咲いています。これらの花々や植生の話などを説明しながら、のんびりと春の湿原を散策します。

■日時／6月9日(日)、午前10時～正午

■定員／15人

■参加費／無料

■集合・申し込み・問い合わせ／鶴

居村温根内ビジターセンター(☎0154-6512323)

## 釧路湿原の自然再生に 参加しよう！

釧路湿原の保全の取り組みに参加しませんか？参加できる自然再生をご案内します。この機会に釧路湿原へ恩返ししましょう。

■問い合わせ／釧路湿原自然再生協議会再生普及行動計画ワーキンググループ事務局(☎0154-5614646)

## みんなで調べる復元

## 河川の環境・2013夏

蛇行が復活した釧路川茅沼地区で環境調査を行います。

■日時／7月14日(日)、午前8時30分～午後2時30分(荒天候時は翌日に順延)

■集合場所／釧路市役所前または憩の家かや沼前

■対象／小学校高学年以上

■定員／20人

■参加費／無料

■応募締切／6月21日(金)、定員となり次第締切

■申し込み・問い合わせ／釧路

国際ウエットランドセンター(釧路市役所環境保全課内 ☎0154-3114594)

## ワンダグリンダ・ プロジェクト報告書 最新版配布スタート

釧路湿原のために活動している方々を紹介する「ワンダグリンダ・プロジェクト2012報告書」が完成しました。湿原保全へのさまざまなアプローチがまとまった一冊を無料で配布します。

■場所／釧路湿原野生生物保護センター、釧路市民活動センター

■郵送希望の場合／返信用封筒(A4サイズ、290円切手同封)を左記までお送りください。

■申し込み・問い合わせ／釧路湿原野生生物保護センター内再生普及行動計画ワーキンググループ事務局(☎084-0922)

釧路市北斗2-2101、☎0154-5614646



内田千代子さん (川 上) の作品

# みんなの 作品展



## 投稿お待ちしております

掲載希望の方は、イラスト・詩・絵画・写真ほか何でも結構ですので、作品に住所・氏名を記入の上、次のところまでお寄せください。

〒088-2312 川上4丁目2番地  
役場企画財政課地域振興係  
「みんなの作品展コーナー」

## 絵手紙の会



和田レイ子さん (開 運) の作品

## 文芸作品

### 川 柳 (標茶川柳の会)

- 鉢の花春の気配を見せはじめ
- ウオーキング一朝毎に若返る

佐藤 教子  
葉佐 智恵

### 短 歌 (自生林短歌会)

- ここが良い住めば都と昔から  
足跡残る苦難を越えて
- ギターライブ西村歩の音を聴く  
心の音と想ひの音を
- わんと呼ぶ朝の挨拶手をそえて  
餌待つ目にはいとときこめて

伊藤美代子  
和田 礼子  
大山 弘子

### 私有地の草刈り

雑草が伸びたままの状態やごみが捨てられた状態のままになっている土地は、近隣の方の迷惑になります。また、草刈りが行われていない所有地は、ごみの不法投棄や野火を招く原因にもなります。安全で快適な生活を送るために、一人一人が自分の所有地の草刈りや清掃を行い、きれいで住みやすい町にしましょう。

### 農薬飛散による被害の発生を防ぐために

学校や保育所、住宅地と近接する家庭菜園や農地などでは、農薬が飛散して住民や子どもなどへ健康被害が生じないように、できるだけ農薬を使用しないよう心がけましょう。また、農薬を使用しなければならぬ場合は、飛散しない農薬を選んだり、ラベルに記載された内容に従って使用するなど、農薬が飛散しないよう十分な配慮を行いましょ。

